

令和7年度 セーフコミュニティ標語入選作品(第10回)

応募数 3,149作品

標語と合わせて、それぞれが標語に込めた思いを紹介しています。

最優秀作品 (1作品)

標語	氏名	学校名	学年
1人じゃない みんなでつくる 笑顔の輪	古賀 望愛	田主丸中学校	1
人は1人ではなく支え合って生きている。助け合い支え合うことで笑顔の輪が広がると良いなという願いをこめました。			

優秀作品 (11作品)

標語	氏名	学校名	学年
お金の話 ふり込む前に 周りに相談	嶋田 湊真	北野小学校	6
テレビのニュースでふり込みさぎの被害が増加していることを知って悲しくなって、さぎを減らすためにはどんなに小さなことでもまず周りに相談する勇気が必要だと思ったから。			
抜け道と思わないでそこは通学路	中垣 蒼介	合川小学校	6
通学路を通って安全にすごしてほしいという思いでつくりました。			
オレオレは ぼくじゃないよ おじいちゃん	池田 琉偉	篠山小学校	4
ぼくのおじいちゃんやおばあちゃんがオレオレさぎにかかってほしくないからこの標語を考えました。			
見守り隊 雨の日晴れの日 ありがとう	松本 理央	上津小学校	4
毎日登校する時、雨の日も暑い日も見守りをしてくれるのがすごいなあと思って書きました。いつもぼくたちを見守ってくれてありがとう。			
かもしれない 左右のかくにん わすれない	村上 遥真	篠山小学校	4
どんなに気をつけていても事故にまきこまれることがあるとお母さんに言われます。そんな悲しい事故が一つでもへるよう「自分の身は自分で守る」ということを意識してすごしてほしいという思いをこめて書きました。			
大丈夫 みんな味方だ 一人じゃない	山本 晟愛	篠山小学校	4
いやなことがあっても自分でかかえこまず、まわりの人に言って、気持ちをかるくしてほしい。一人でも味方がぜったいいるから安心してほしい。			
あいさつで ぼくのげんきを きみにバス	石崎 新	篠山小学校	2
ぼくは、いつも元気の人や学校のともだちにも元気な声であいさつをしています。サッカーのバスのように元気をみんなにあげたい気持ちでかきました。			
てをあげた ちいさなわたしに きがついて	井上 真維	上津小学校	1
1ねんせいのわたしは、ちいさいのでみちをわたるときにきがついてほしいからとおもいました。			
じてんしゃの だいじなおまもり へるめっと	山下 晴平	荒木小学校	1
お姉ちゃんが夏休み入ってすぐ自転車の交通事故に合い、とても心配し、早くケガが治るように…と願ったときに考えた標語です。			
かくにんしよう ひなんじゅんび ひなんばしょ	吉田 琉々花	上津小学校	1
じしんがおきたらすぐににげる。ひなんすることがたいせつだとおもったからです。			
叩くより 抱きしめるのが 親の愛	岡 朋子	-	-
たたくことは、子どもの心を傷つけるだけ。抱きしめれば、その心は落ち着く。子どもにイラついてしまうことは誰にでもあると思う。そんな時に思い出してほしい。愛情は力ではなく、あたたかさで伝わるということを。			